



第16号
令和7年盛夏
発行
真龍山大雄寺

北見市留辺薬町宮下町 109
TEL 0157-42-2418
FAX 0157-42-2748

住職挨拶

お盆の時期となりました。新たな年を迎えた早々に「北見市財政危機」という衝撃的なニュースが流れました。平成十八年に一市三町で合併しましたが、少子高齢化や地場産業の衰退の影響は北見市も例外ではありませんでした。これから財政健全計画のもと、様々な公共サービスの縮小、利用料金の値上げを避けることは難しいでしょう。しかしこのような状況だからこそ、正しい情報、冷静な判断が必要かと思えます。

このAIの時代、何を調べるにも検索すれば、誰もが簡単に答えを探すことができるようになりました。ただ便利になった一方で、自分で考える能力、解決できない問題への対応能力は劣ってきたように感じます。その結果、自分にとって都合のよい情報だけを鵜呑みにしてしまう。

精神科医のははきぎほうせい 帚木蓬生先生は「ネガティブケイパビリティ」と称して、すぐには答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える能力の重要さを論じました。人生とは答えが分からない、それでも歩んでいかなければならない日々の連続かもしれません。それは孤独な道もありますが、だからこそ決して一人でなく、ともに寄り添い共感し合うことが大事なだろうと思います。大いなる自然の流れ、曖昧さを受け入れながら歩んでいく、その先に、成熟した人生観があるのかもしれない。

合掌

お寺の動き

骨格整え体操

秋彼岸法要のお参り後、市内で「道東カイロプラクティックオフィスみおんち」として活動されている藤原弥緒さんをお招きして、参拝者の方々と骨格整え体操を実践しました。藤原さんは檀家のお孫さんとしてのご縁がありまして、この度、快くご返事いただきました。当日はゴムバンドを使用して、肩や骨盤周りの体操、太ももの筋肉を使った運動など、三十分かけて丁寧に説明していただきました。

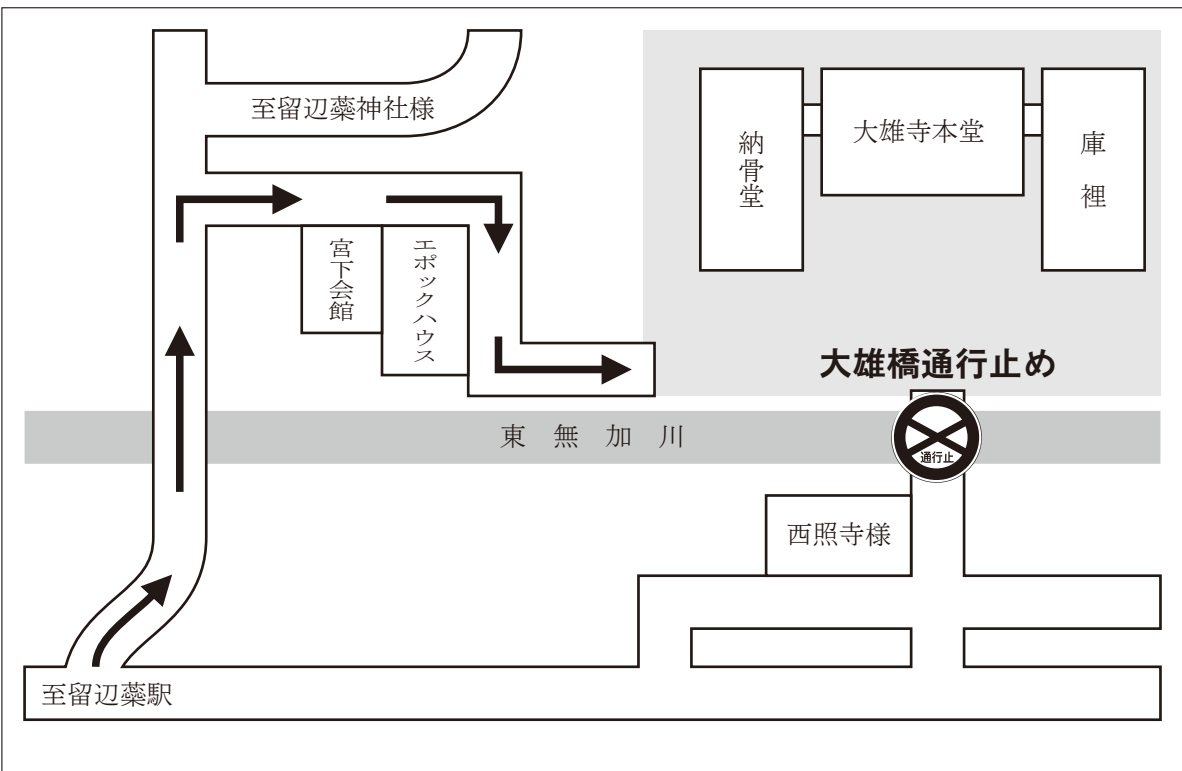
普段しない動きに悪戦苦闘しながらも、終わった後は皆んな清々しい気持ちになり、充実した時間を過ごせました。



骨格整え体操

大雄橋修繕のお知らせ

今夏、かねてより計画しておりました、お寺の橋の改修工事が始まります。工事期間は約一か月、八月初頭に工事完了を予定しています。ただ工事に際し、今まで利用していた橋が通行止めとなりますので、地図に記載されている迂回路から来寺して頂くこととなります。ご不明な点、来寺をご希望の方はお寺までご連絡下さい。



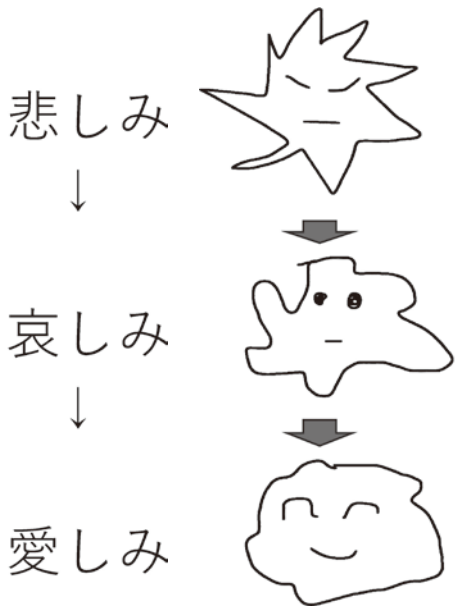
仏事
Q & A

知ってるつもりでも、わからないことが多い仏教用語・作法もあるようです。そこでQ & Aのコーナーを設けました。

Q 最近、耳にします「グリーフケア」とはどんな意味でしょうか？

A グリーフ（grief）とは、死別や喪失によって起こる悲嘆や心身の反応のことを言います。大切な人を失った時、悲しみはもろろのこと、否認、混乱、怒りなど様々な感情が出てくることもあります。また死別以外にも離別、病氣、災害、離職など、喪失は誰しも身近にあります。抱えるグリーフは一人ひとりで違い、自然な反応であること、自身や周りのサポートする者がこれらを理解して寄り添うことをグリーフケアと言います。

喪失直後は悲しみが刺のように触れるのも辛いかもしれませんが、いつか棘の形が丸くなり、悲しみに優しく触れることができる。その時はきつと悲しみが「愛しみ」として、故人との絆が変わっている、それがグリーフケアの目指す所だと思っています。



心のたすき
「父の思い出」



三浦 論 二
(宮下町)

父（三浦吉蔵）は、平成十五年八月十四日、八十九歳で逝去致しました。

後志の磯谷で九人兄弟の長男として生まれ、戦時中は樺太に衛生兵として四年間出征しておりました。父の趣味は釣りでしたので、私が小さな頃はよく、日曜日の早朝に網走の鱒浦海岸に海釣りに連れて行ってもらいました。釣果はあまりありませんでしたが、それでもとても優しく父との大切な思い出です。

孫の憲人方丈が2才の頃、おもちゃの刀で元氣よく遊びまわっている姿をジッと見て、「この子は将来、大雄寺の後継者になる」と、はっきり言ったのが忘れられません。今は父の申した通りになりました。

晩年は旭川で居を構え、好きな庭作りや散歩などをし、夫婦のんびり暮らしていました。私は札幌から休みの日は実家の旭川に行き、父をパターゴルフや温泉に連れて行き、楽しい時間を過ごしました。当時はとても喜んでくれたので、「少しは親孝行できたかなあ」と思っています。

八十七才の時に病氣になりましたが、その後も頑張って長生きしてくれました。今は「親父さん、ありがとう」と毎朝、御仏壇に手を合わせています。

合掌

令和7年度
大雄寺行事予定

- 8月16日
- 盂蘭盆施食会
新亡施食会 午前11時より
一般施食会
- 9月23日(秋分の日)
- 秋彼岸会 午後1時より
- 3月20日(春分の日)
- 春彼岸会 午後1時より

令和7年度役員・世話人

住職	米田 憲人	世話人	工藤 良二(宮下)
総代	戸田 健司(大富)	全	佐藤 雄二(北見市)
世話人	木幡 和清(旭中央)	全	小熊 政昭(北見市)
全	吉村 義正(北見市)	全	荒 喜代隆(旭西)
全	佐川 和則(旭南)	全(監査)	荒木 正憲(旭一区)
全	渋谷 恒彦(秋田)	全(監査)	尾関 昭夫(北見市)

編集後記

AIの時代が進むと、何をするにも効率を求めるようになるそうです。確かに人口減からくる人手不足を補うためにも、効率化は避けて通れません。しかし効率だけを求めていたら、必ず行き詰まる時が来る、そんな風にも思います。たとえ非効率で不合理であっても、耐え忍ぶしなやかさを持つていきたいですね。

住職